

見積書一覧表

【施設】

(単位:円)

見積書 No	認定時 の記号	工事内容	見積額(税抜) (A)	(A)のうち、補助対象外の額		(A)のうち 補助対象額 (A)-(B1)-(B2)	見積業者	補助対象外(B1)の内容
				面積按分以外(B1)	面積按分(B2)			
1	A	本社ビル外壁等復旧工事	10,000,000	1,000,000	0	9,000,000	〇〇建設(株)	調査費:1,000,000円
2	B	本社ビル内装復旧工事	15,000,000	1,700,000	0	13,300,000	(株)〇〇組	応接セット:700,000円 官公庁申請手数料:1,000,000円
3	C	物流拠点新築工事	60,000,000	20,000,000	8,181,819	31,818,181	〇〇建設(株)	地盤改良費:6,000,000円 上限額(原状回復費用)による減額: 14,000,000円
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
合 計			85,000,000	22,700,000	8,181,819	54,118,181		

見積業者2者以上のうち、最も安価な業者の見積もり内容を記載してください。

- 「0」記載のセルは、自動計算となります。セルを結合する場合などは、適宜、修正してください。
- 見積業者2者以上のうち、最も安価な業者の見積もり内容を記載します。また、その見積書の右上に通し番号を記載します。併せて、本書「見積書No」に同じ番号を記載します。
- 1つの見積書に複数の施設の工事内容がある場合、補助事業計画書の「3(1)ーア、ウ施設」の認定時の記号毎に見積書を分けて記載してください。また、この場合、小計欄を設けて、見積書単位の合計額が分かるように記載してください。
- 見積項目自体が補助対象外となる場合は、「補助対象外の額」欄の「面積按分以外(B1)」に計上し、面積按分によるものは「面積按分(B2)」に記載してください。
- 「補助対象外(B1)の内容」欄には、見積書中、どの項目を対象外としているか分かるように、その項目と各金額を記載してください。(別紙でも可)

見積書一覧表

【設備】

(単位:円)

見積書 No	認定時 の記号 No.	工事内容	見積額(税抜) (A)	(A)のうち、補助対象外の額		(A)のうち 補助対象額 (A)-(B1)-(B2)	見積業者	補助対象外(B1)の内容
				面積按分以外(B1)	面積按分(B2)			
1-1	A1	倉庫クレーン部位A	15,000,000	0	0	15,000,000	(株)〇〇設備	
1-2	A1	倉庫クレーン部位B	12,000,000	0	0	12,000,000	(株)〇〇組	
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
						0		
合 計			27,000,000	0	0	27,000,000		

認定時は倉庫クレーン一式で申請しているが、部位毎にそれぞれ違う業者に修理を頼んだ場合は、倉庫クレーン一式に対し見積書が複数出てくるため、見積書毎に別々に記載してください。

一つの設備に対し、部位毎に修理を業者に頼んだ場合は、見積書Noは枝番をつけるなどして分かるようにしてください。

- 「0」記載のセルは、自動計算となります。セルを結合する場合は、適宜、修正してください。
- 見積業者2者以上のうち、最も安価な業者の見積もり内容を記載します。また、その見積書の右上に通し番号を記載します。併せて、本書「見積書No」に同じ番号を記載します。
- 1つの見積書に複数の設備が含まれる場合は、補助事業計画書の「3(2)ーア、ウ設備」の設備No.ごとに見積書を分けて記載してください。また、この場合、小計欄を設けて、見積書単位の合計額が分かるように記載してください。
- 見積項目自体が補助対象外となる場合は、「補助対象外の額」欄の「面積按分以外(B1)」に計上し、面積按分によるものは「面積按分(B2)」に記載してください。
- 「補助対象外(B1)の内容」欄には、見積書中、どの項目を対象外としているか分かるように、その項目と各金額を記載してください。(別紙でも可)